

コスモス 5月号

第71巻 第5号

◆宮柁ニカレンダー(50) 五月の歌

しづかなる山の青葉や夕ひかりうする中の

黒鷯のこゑ

歌集『群鷯』

「須走町」の一首。「五月廿二、三日。富士岳麓に於ける多磨野鳥見学の会」と詞書がある。

黒鷯はスズメ目ヒタキ科ツグミ属の鳥。夏鳥として九州以北の低山地の森林に渡来し、キヨロン、キヨロン、ツリリン、キーク、キークなどと囀る。

初夏の陽射しの下の鮮やかな緑ではなく、夕暮れどきの翳りのある青葉。その茂りの中から美しい囀りが聞こえる。囀りの合間はしんと静まり、昼間の暑さの去った、山の清涼な空気が迎り一帯に広がっていたと思われる。

(伊沢 玲)